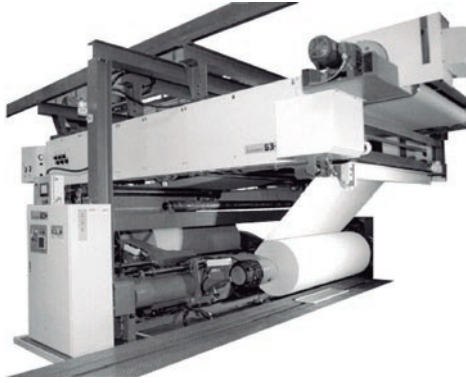


製品紹介

コルゲータ用世界最速紙継ぎ装置 “63-1J スプライサ”

Fastest New Splicer "63-1J" in the World for Corrugator



営業窓口 紙・印刷機械事業部紙工機械部
紙工機械営業企画 G
☎ (0848) 67-2568

高生産性・高品質シートを得るため段ボールシート製造機（コルゲータ）を高速かつ一定速で運転する事は業界のニーズである。

これまでは旧原紙ロールと新原紙ロールを継ぐ工程において紙継ぎ装置（スプライサ）の紙継ぎ限界性能より運転速度を減速する必要があり、高生産性の阻害及び運転速度変動に伴う段ボールシート品質低下の要因にもなっていた。

これらの問題を解消するため紙継ぎ時の運転速度制約のない高速スプライサを開発した。

1. 製品の概要

世界最高運転速度 400 m / 分のコルゲータにおいて運転速度を減速することなく紙継ぎが可能な世界最速スプライサ。

2. 主な特徴

2.1 高速紙継ぎ

(1) コルゲータの運転速度 400 m / 分における芯紙速度 640 m / 分（波型に段繰りされる段ボールの芯紙は表裏の紙に対し紙速度が最大で約 1.6 倍速く

なる）での紙継ぎを実現した。

高速かつ一定速運転での紙継ぎを可能としたスプライサは、生産性改善及び運転速度変動により発生する段ボールシートの反り等の品質改善に寄与する。
(2) 従来のスプライサと同一の機械長で紙継ぎ紙速度を約 1.5 倍（当社比）に向上可能である。

2.2 テンションコントロール装置

張力制御装置を内蔵することにより紙継ぎ時におけるシート張力変動を設定張力値の ± 15 % 以内（紙継ぎ紙速度 640 m / 分時）に抑制可能である。

従来、紙継ぎ時のシート張力変動が原因となり発生していたシングルフェーサにおける中芯の段割れ・貼合不良、及びダブルフェーサにおける二度付きによる貼合不良を解消した。

2.3 紙継ぎ準備作業の容易化

紙継ぎ準備時の新原紙ロールの弛（ゆる）み取り作業を自動化すると同時に、紙継ぎ準備時間を短縮した。

3. 主要仕様

主要仕様を表 1 に示す。

表 1 主要仕様

M/Cタイプ		Type I	Type II	Type III
最高紙継ぎ紙速度 (m/分)	機械長 (mm)	6660	5150	4560
	ゲンサーロール本数			
	4本	640	529	479
	3本	562	468	427
	2本	461	387	354
最大原紙径 (mm)		1300		
機械幅 (mm)		1800, 2000, 2200, 2500		
使用原紙仕様	原紙坪量	110~440 g/m ²		
	抗張力	55 N/cm (5.5 kgf/cm)		
紙継ぎ方法		重ね継ぎ (継ぎ代 75 mm, テープ幅 50 mm)		
テンションコントロール装置		張力変動 ± 15% 以内 (紙継ぎ紙速度 640 m / 分時)		